

# こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 219 2015.3.4 連絡先 402-1622 >

## 代表質問行いました

### 子どもの貧困について

子どもの貧困率（平均的所得の半分を下回る世帯で暮らす子どもの割合）が16.3%になり、6人に1人が貧困状態にあります。貧困は子どもの心身の発達に影響を与えるだけでなく、大人になっても再び貧困となる場合が多く、その連鎖が問題となっています。市長の認識と、具体策を問いました。

市長は「貧困の連鎖が原因で子どもたちの未来が閉ざされることがあってはならない」と答弁を行い、就学援助は修学旅行費を中核市並みに引き上げる予算を計上しているとした。

### 社会保障について

国の新年度予算案では、社会保障は大きく削減の内容となっています。年金などの支給は減らし、介護保険料・利用料などの負担は増やす、こういう社会保障の後退は、市民の暮らしに大きな影響を与えると思います。市長の考えはどうか、ただしました。また、市民負担が増えている現実に対し、市民の暮らしを守る立場で、国に対して「モノを言う」必要があると考えるかどうか問いました。

市長は「少なからずとも生活に影響を及ぼしていると考える」「国へ、負担割合を増やすよう要望する」と答えましたが、市の国保料は高いと認識、介護保険料も高いがやむを得ないとした。

**防災**については、公共下水道直結型仮設トイレの設置は目標48か所590基に対し今年度末20か所230基、5年後には43か所520基整備の予定とした。

**農業**については、市長は「農業は、多面的機能を有するかけがえのない基幹産業である」と答弁。食料自給率の目標と計画は、見直しを予定している長期総合計画の中で掲げたいとした。

### みち子のひとりごと 課題

豊かな愛情のもとで育てられたなら、平気で人を傷つけるような子どもには育たないはず。子どもを被害者にはもちろん、加害者にもしない。そのために私たち大人がすべきことは何か、大きな課題が突きつけられました。



長女がインターネットでつぶやいています。「長女（5才）と長男（2才）が寝るときに、私の右にまくらをくっつけて寝るので、自分の枕の幅しか使えない、枕を大きいのかえようかな」と。身の重の彼女には確かに狭くて寝苦しいだろうけど、枕を変えても結果は同じでしょう。  
思い出しました、自分の子育ての頃。やっぱり、長男と長女が両サイドを占め、仕方がないから3人目の次女はお腹の上に乗せて、「よしよし」していたことを。そんな時期もあったなあと。小さい頃のスキンシップはいくらしてもしすぎることはなく、心の成長の土台となるでしょう。

## こんにちはかとう直人です



県と連絡  
会の懇談  
会での回  
局の回答  
は、ほと  
んどが

障害者作業所の連絡会  
の会合に出席しました。  
現場からは多くの要望と  
提案が出されています。  
福祉行政はこれらにどう  
応えていくのか、真摯に  
向き合うべきです。

「国に要望します」ばか  
り。具体的進展、成果が  
ありません。介護報酬が  
削減される情勢を作りな  
がら膨大な事務量を課し  
てくる指導で現場が回ら  
ない現状や、ニーズの高  
いグループホームの建設  
を民間任せにする行政で  
県の努力が見えません。  
国の言うままにその矛盾  
を現場に持ち込むからで  
す。

だ実感しました。それ  
を強調しつつ、同時に政  
治を動かす共産党の躍進  
も果たしてこそ現状の打  
開ができることを会の皆  
さんにお話ししました。  
私は2年前までこの会の  
役員をしており、今回ま  
た新たな顔ぶれのメンバー  
さんとも交流でき、元氣  
の出るお話を聞かせてい  
ただきました。私も全力  
で頑張ります。

運動がさらに今、大事

## 渡辺忠広議員の一般質問

3月3日、今期  
で引退する渡辺  
忠広議員の一般  
質問が行われま  
した。



観光について、  
友ヶ島には多くの歴史的、文化的遺  
産があることから、指定文化財の登  
録と、友ヶ島には、飲料水がないこ  
とから海水の淡水化施設設置・遊歩  
道の整備などを求めました。

農業については、基幹産業として  
の総合的ビジョンが見えないとし、  
小規模農家を守る上で有効なCSA農  
法をすすめるよう求めました。

市産業廃棄物処理指針について、  
滝畑の産廃処理場計画で住民が説明  
会を要請しても事業者が応じず、市  
も積極的に現状を住民に知らせてい  
ないことを示し、市の専門技術委員  
の意見にずさんな回答しかできない  
事業者の実態を告発。産廃の知識の  
習得に努めなければならないのは市  
民ではなく、市と事業者である」と  
批判し、排出事業者の社会的責任の  
明確化など指針の全面的な見直しを  
求めました。

## 子どもの医療費は無料に

～どの子も安心して生きていける～

3月7日(土) 15時～17時 中央コミセン

基調報告「子どもの医療費無料化は誰にも安心な制度」

野村喜代子さん(新日本婦人の会高崎支部支部長)

リレートーク 子どもを持つ親の立場から

教育の現場から

署名運動に取り組んでいる経験から

子どもの医療費助成制度の拡充をめざす和歌山連絡会 073-436-3766

お知らせ  
遅くなって  
ごめん  
なさい

